

日本技術士会 中国支部 修習技術者支援委員会
平成24年度 第1回修習セミナー

「技術士受験体験談」

平成24年4月21日

勝谷 芳生 技術士(環境部門)

目次

1. 自己紹介
2. 二次試験について
 - ①受験申込み
 - ②筆記試験
 - ③技術士体験論文
 - ④口頭試験
3. その他

自己紹介

氏名： 勝谷芳生（38歳）

所属：（財）広島県環境保健協会

経歴：

- ・平成10年 環境分析（有機化学分析）
- ・平成11年 環境計量士（濃度関係）登録
- ・平成12年～

極微量物質を対象とした環境測定分析
主に

- ・ ダイオキシン類
- ・ 絶縁油中微量PCB
- ・ 外因性内分泌攪乱物質
- ・平成15年 計量管理者として極微量物質分析の
特定計量管理業務（ダイオキシン類）に
従事

経歴書作成例

修正前

～の業務を担当



修正後

1. 主担当として(実務)
2. 技術管理者として…(管理)
3. 計量管理者として…(統括)



同一の業務でも、**立場、役割**が異なる



自己の成長をアピールする

経歴書作成における注意点

- 10行の経歴欄を全て埋めるつもりで
- 同じことに取り組んでいても、**役割**や**立場**が異なれば分けて書いたほうが良い。
(例えば～の分析→～の導入検討、～の指導、管理など)
- 業務の大小は関係ない。どのように創意工夫したかが重要
- 10行のうち2つくらい山場を作るのが理想
- 業務のアピールよりは、自己の成長がわかるような記述を

筆記試験

二次試験は、受験者が技術士としてふさわしい資質を持っているかどうかを確認する試験

その中で、筆記試験では論理的考察力、課題解決能力、専門知識および応用能力が確認される。

- ・ 特に筆記が難関(合格率 筆記15%、口頭80%)
- ・ 上位15%に
- ・ 骨子法
- ・ 題意に沿う
- ・ 文字数(枚数)はあまり関係なく、3枚以上をクリアしていれば2枚+ α 程度でも可、内容が重要

筆記試験対策法の考え方

- ・ 同じ知識レベルでも文章力(表現力、明確さ)で合否をわける。
- ・ 読みやすい、整理された文章であるほうが当然良い。



骨子法



オリジナル

- ・ 合格回答事例集を活用(SUKIYAKI塾)
- ・ 過去問で骨子作成の練習

筆記試験の終了後にすべきこと

必須事項

- ・ 回答の詳細を必ず再現しておく
 - ◎口頭試験で筆記回答の内容を聞かれる
 - ◎筆記試験合格後では、既に忘却の彼方に…
 - ◎筆記試験の手応えが思わしくなくてもやるべき

その他

体験論文を徐々に作成

口頭試験で確認される資質

確認項目	主な確認方法	準備の配分 (主観)
① 経歴及び応用能力	・経歴・技術的体験論文のプレゼンと質疑応答	50%
② 体系的専門知識	・質問マニュアルによる基礎知識問題	30%
③ 技術に対する見識	・技術の「あり方」に関する意見提示	10%
④ 技術者倫理	・3 義務2 責務などの理解確認	10%
⑤ 技術士制度の認識 その他		

筆記試験合格発表後のスケジュール (平成23年度例)

日付	内容	準備
10月28日	筆記試験合否発表	
11月 5日	修習セミナー(論文添削など)	論文作成 及び添削
11月 7日	体験論文締切り	
11月19日	模擬面接(技術士会)	面接準備 ・経歴、論文の詳述 ・知識修得 ・技術士倫理
11月27日	口頭セミナー(SUKIYAKI塾)	
12月 3日	2次面接	

項目	区分	評価内容		
1	略記事例	業務概要	業務名・時期は特に問題ないか、業務の概要はわかりやすいか	
2			課題・問題点・解決策の内容がうかがえるような記述があるか、その内容は妥当か	
3	詳述事例	業務概要	業務名・時期は特に問題ないか、業務の概要はわかりやすいか	
4		立場	業務上の立場は明確になっているか	
5		役割	課題抽出から解決までを主体的に取り組んだ業務内分担範囲が明確になっているか	
6		課題	業務上、解決すべき課題は明確になっているか	
7		問題点	課題解決上のボトルネックとして、問題点が明確に抽出されているか	
8			何が、なぜ、どのように難しいのかが明確になっているか	
9			問題点に的確に対応しているか、問題点とずれたり横道にそれたりしていないか	
10		事例	解決策	解決策にはそこそこのレベルの創意工夫があるか（当たり前ではないか）
13		解決策	解決策は実現性があることが読み取れるか	
11		解決策は多様な視点から検討されていることが読み取れるか		
12		解決策が導かれる過程に、論理の欠如・飛躍がないか、理論的に根拠付けられているか		
14		成果	成果の内容は、問題点・解決策を示したものとずれていないか	
15		記述対象が、問題点・解決策を示したものとずれていないか、最新動向を踏まえているか		

論文の形式等

- ① A4縦の用紙2枚以内に、図表を含め3,000字以内
(カラー不可)
- ② 用紙は、片面のみ使用し、横書き
- ③ 書式は、1枚目40文字×35行、2枚目40文字×40行、
文字の大きさ10.5ポイント
- ④ 本文中のカタカナは全角文字
- ⑤ 3部提出



論文の内容に気を取られがち・・・

最後に、定められ**形式の再確認**を忘れずに

～平成

多岐

論文の形式

法では前処理及び測定に1～2ヶ月を要するため、迅速測定法の確立が課題

私は、生物検定法の1つであるELISA法（以下『E法』という。）を用いダイオキシン類を迅速に測定することを目的として、前処理工程を含めた試験および解析等を実施した。以下、業務2について詳述する。

1. 私の立場と役割

私は管理技術者として、業務全体の管理と試験方法の立案、業務の指示・管理、実用性の立案を実施し、3名のスタッフを統括した。

2. 業務を進める上での課題及び問題点

私はダイオキシン類の土壌汚染調査において、分析にコストと時間の削減と同等の精度を有する迅速法を確立することが課題であると考えた。この課題には、風乾、抽出、精製、測定の前工程における迅速化が必要である。土壌汚染調査における迅速測定を実施するためには以下の4つが問題点であった。

- (1) ソックスレー抽出（公定法）は、抽出に長時間を要し、代替方法の検討・知見が少ない。

模擬面接の有効性

(1) 弱点を明確にできる

(2) 場慣れできる

(3) 想定外の質問に対する対応

(4) 客観的な視点で問題点を指摘してもらえる

面接について

(1) 試験会場

- ・下見必須、会場内での試験室の確認

(2) 面接前の過ごし方

- ・ホテル、喫茶店、ファミレス

(3) 面接

- ・10分で経歴と論文の説明
- ・技術士倫理
- ・わからないものはあやふやな回答をしない

(4) 宿泊